

よこのやま新聞

道方と笑、湯山神楽



ブログもやっています「よこのやまぶろぐ」

8月27日に開催された湯山大神楽祭が無事終わった。18時開演から約3時間、観客の拍手喝さいや笑いの渦の中、湯山集落の皆さんの熱演が光った。

常連でいらっしやる東京松之山会の方々のほかにも集落外から観に来られた方も多くおられ、例年以上に盛り上がった神楽になったとのことだった。

私が出させていただいた『六兵衛問答は』舞台後半。神主の役で台詞はやや少ないものの、こういった舞台上がって演技をするという事は人生初の事で相当緊張してしまっ。演技が相当堅かったに違いない。笑。しかし、非常に楽しく取り組むことができた。来年もしっかり頑張りたい。

佐渡より視察団来訪 黒倉

8月22日、黒倉集落に佐渡からの視察団が来訪した。多面的機能支払い交付金事業についての取り組みを見学したいとの事で、市議員の村山邦一さんより黒倉の事業代表の草村好信さんへ依頼があったものだ。私自身も事務という形でこの事業に携わったということもあり、「一緒に訪問を迎えることになった。」

話し合いの内容は概ね2つで、申請に至るまでの書類作成の煩雑さ、それと若

手の不足問題であった。どの地域においてもやはり若手の存在は必要で、私のような協力隊という形で補助が入るケースもあることにはあるが、全国レベルで見るとまだそう多くはない。

農政が日本農業に対しての補助をしていることは分かるが、いかんせんそれを実行するのは人だ。農業が廃れる、もしくは後継者がいないという事態になればその土地は荒れ果て、いつしか人が住まなくなる。そ

8月19日、私が所属している松之山地区協議会主催で視察研修が行われた。視察を通して松之山の地域振興に役立てようというのが狙いだ。

最初に訪問した場所は安塚の耕太郎農園をいうところ。農業体験や野菜、加工品などを販売している。特産品などの開発などにも非常に積極的であり、非常に参考になった。

その後は北陸新幹線の商業施設見学、ブドウ農園の見学などを訪れた。

松之山地区協議会 視察研修

視察を通して感じたことは、地域の魅力を発信させる手段は様々あるのだ、ということ。その中でも販売できる商品を見出すことはとても重要だ。松之山にはお米という強い武器があるが、それ以外にも加工品や顧客が購入したくなる商品を開発する必要があるだろう。その資源となるものは松之山には数多くある。後はやるかどうかだ。

んな危惧を視察団は持っておられた。むろん、私が担当している黒倉、兎口、湯山集落も同様の認識を持っておられるのだと思う。だからこそ地域おこし協力隊という存在を受け入れてくださったのだと思うのだ。

私は農業をこの松之山でやるのだと心に決めていて、何よりも松之山の土地を自分なりのやり方で農業を維持させたい。貴重な、そして美しいこの土地を自分なりに守っていきたくて再認識できた一日だった。

パソコン個別相談好評です
パソコンの不具合が解消しない！操作方法が分からない！などのお困りごとがございましたら？無料出張相談を随時行っております。これまでもエクセル操作やPCメンテナンスなど多くのご相談を頂いております。スマホの操作などお手伝いいたします！お問い合わせは地域おこし協力隊横山、もしくは松之山支所地域振興課まで。電話 028-596-3131